

# 地域の農業を見て・知って・活かすDB ~農林業センサスを中心とした総合データベース~





ここでは【分析事例13】洪水浸水想定区域と農業経営体等 の状況の作成方法を紹介します。



### 使用するデータ一覧

表名(ファイル名称)	年次	利用項目(対象列)	掲載場所
調査客体 (SA0001_2020_2020_〇〇.xlsx)	2020	農業経営体(N列)	農林業センサス
○○県農業集落境界 (MA0001_2020_2020_○○.zip)	2020	農業集落境界	農業集落境界データ
洪水浸水想定区域 (31-22_10_0000_SHP.zip)	2022	20_想定最大規模	国土数値情報
農地の区画情報(筆ポリゴン) (MB0001_2024_2020_00.zip)	2024	筆ポリゴン (MB0001_2024_2020_00.fgb)	筆ポリゴンデータ

#### データのダウンロード方法

農林業センサスデータはEXCEL形式で都道府県別に掲載されています。ダウンロード後、データは任意のフォルダに保存してください。農業集落境界、洪水浸水想定区域(注1)、農地の区画情報(筆ポリゴン) (注2)のzipファイルは展開して同じフォルダに保存してください。

※ (注1)、(注2)については、文末の参考1、2を参照ください。



# ダウンロード (外部リンク) データ名をクリックするとデーター覧が表示されます。 1.農林業経営体\_調査客体 使用する項目をクリック 2.農林業経営体\_組織形態別経営体数 3.農業経営体\_組織形態別経営体数



## 地図に取り込むデータの作成

SA0001\_2020\_2020\_○○.xlsxを展開し、N列(青線)全体を指定し、「-」を「0」に置換します。次に、使用しない J 列~M列(赤線)、O 列~Q列(赤線)を削除し、農業集落境界と同じフォルダに保存します。

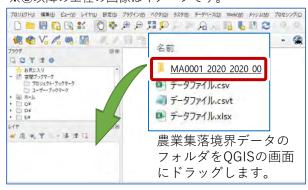


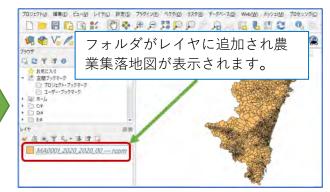




#### 活かすDBのデータを使って作成した分析データを地図化

2 地図ソフト(QGIS)を起動し、農業集落境界データ(解凍済フォルダ)を読み込みます。 ※②以降の工程の画像はイメージです。





③ ①で作成した「データファイル.xlsx」から「データファイル.csv」を作成します。



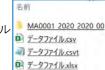


同じフォルダに保存

①で作成した「データファイル.xlsx」を開き、名前を付けて保存からCSVファイルを作成します。(ファイルの種類は「CSV(カンマ区切り)」を選択します。)

4 CSVTファイルを作成します。

CSVファイルが格納されているフォルダに、CSVファイルと同じファイル名のテキストファイル (メモ帳等、拡張子は.csvt)を作成します。(詳しくはデータ利用の手引をご覧ください。)

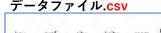


#### 作成するファイル データファイル.csvt

ファイル(F) 編集(E) 審式(O) 表示(V) ヘルブ(H) string, string, string, string, string, string, string, string, real

string (文字列) が9個

real(数値)が1個



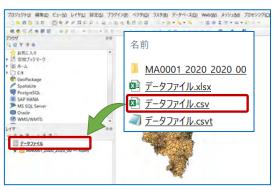
key pref city kcity rcom pref,nam city,name kcity,nam rcom,na 服業経営 e me 体

設計 〇 ベクタ結合を迫

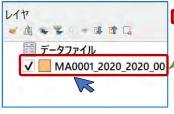
string(文字列)が9個

real (数値) が1個

5 データファイル(CSV形式)を 読み込みます。



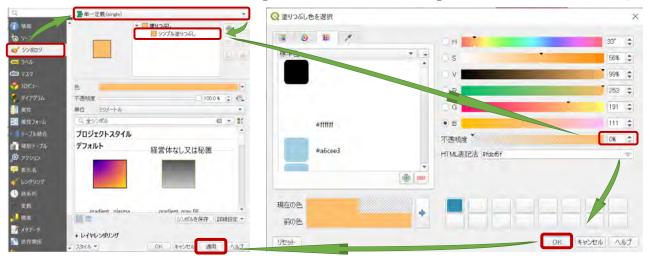
6 データファイルと境界 データを結合します。



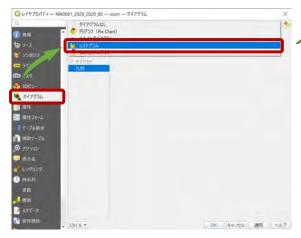


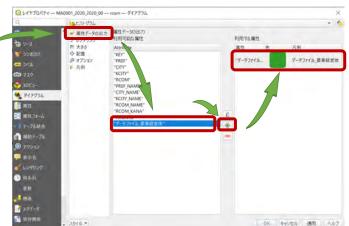
レイヤパネルの農業集落境界をダブルクリック、現れたレイヤプロパティの「テーブル結合」を選択し下部の「+」をクリックします。「結合するレイヤ」のファイル名を「データファイル」にして、「結合属性」をチェック(レ)後、「結合項目」の「農業経営体」をチェック(レ)し「OK」、「適用」の順にクリックします。

7 ⑧以降で表示させる棒グラフ等を見やすくするために、地図の色を不透明度0%にします。 シンボロジをクリックして「単一定義」→「シンプル塗りつぶし」→不透明度を0%にします。



- 8 農業経営体数の棒グラフを作成します。 ダイアグラムをクリックして「ヒストグラム」を選択します。
- 9 属性データの出力をクリックし、利用可能な属性から「データファイル」農業経営体」を選択し「+」をクリックします。利用する属性で色などを設定します。



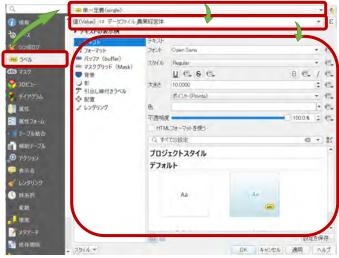


10 「大きさ」を選択し「可変サイズ」を チェックします。次に「属性」から"データ ファイル\_農業経営体"を選択します。「最大 値」は「検索」ボタンをクリックすると 自動で表示されます。

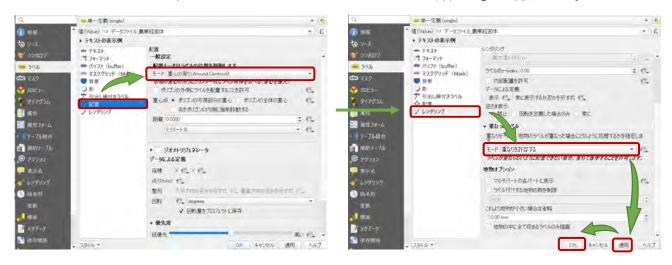
最後に「バーの長さ」を設定します。



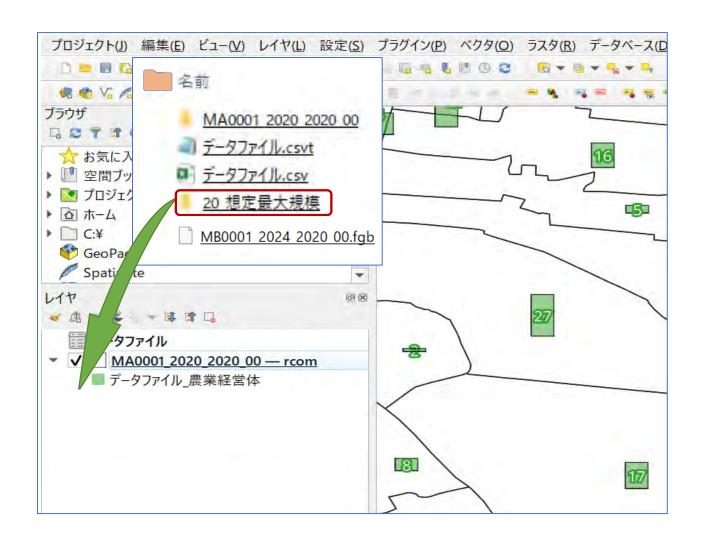
11 棒グラフに農業経営体数を表示させます。 ラベルをクリックし「単一定義」を選択し値(Value) で「データファイル\_農業経営体」を選択します。テキスト をクリックし文字の色、スタイル、大きさなどを設定 します。



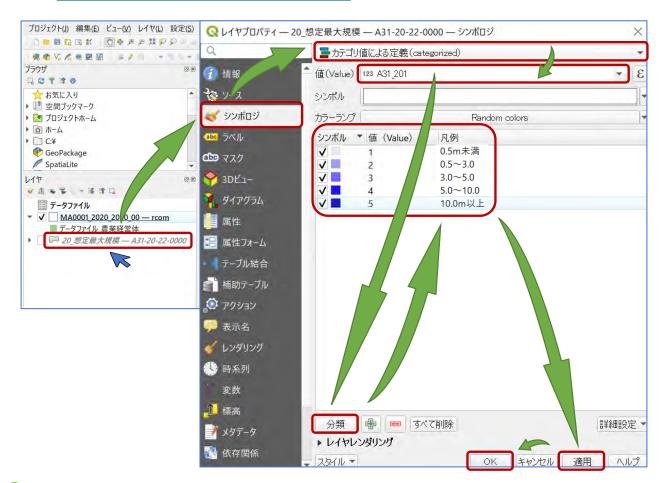
12 配置をクリックし一般設定の「モード」から「重心の周り(Around Centroid)」を選択します。 レンダリングをクリックし、重なったラベルのモードから「重なりを許容する」を選択します。



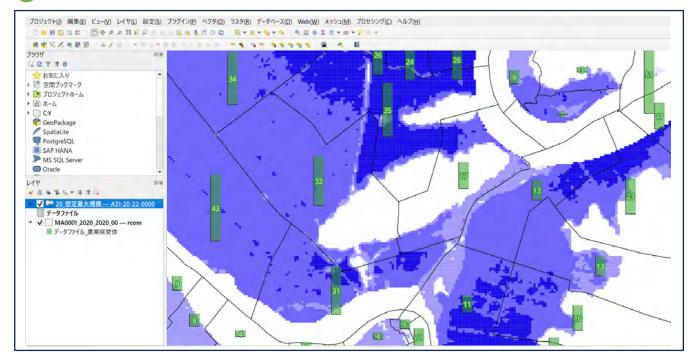
13 下図の右側、地図表示部のようなヒストグラムが設定されます。これに洪水浸水想定区域を追加するために、当該データをレイヤパネルにドラッグ&ドロップします。



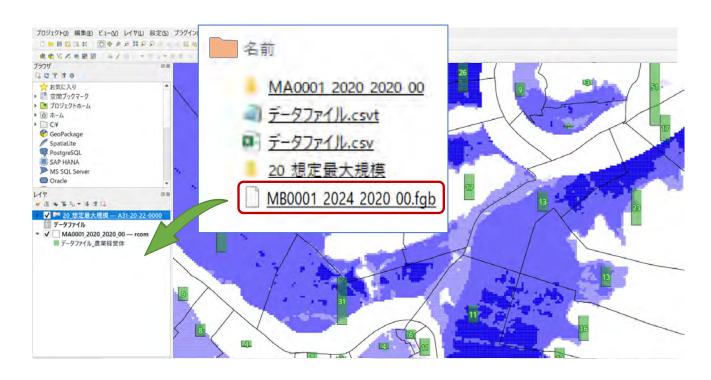
14 想定最大規模区分(カテゴリ値)ごとにシンボルの塗分け等を行います。 洪水浸水想定区域をダブルクリックして、レイヤプロパティを開きます。 レイヤプロパティで「シンボロジ」をクリックし「カテゴリ値による定義(categorized)」 を選択、値(Value)で「A31\_201」を選択した後、各シンボル別の凡例の設定等を行います。 (詳しくはデータ利用の手引をご覧ください。)



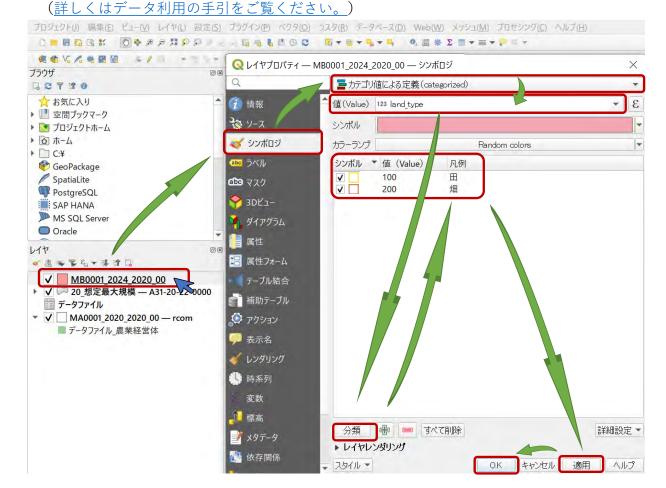
15 洪水浸水想定区域と農業経営体の状況ができました。



16 筆ポリゴンを地図に追加するために、当該データをレイヤパネルにドロップ&ドラッグします。

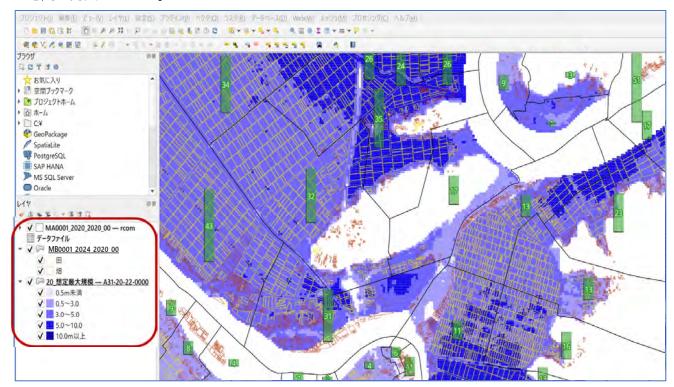


17 筆ポリゴンをダブルクリックして、レイヤプロパティを開きます。 レイヤプロパティで「シンボロジ」をクリックし「カテゴリ値による定義(categorized)」を選択、値(Value)で「land\_type」を選択した後、各シンボル別の凡例の設定等を行います。



18 レイヤパネル上の各レイヤの並び位置を上から、農業集落境界、筆ポリゴン、洪水浸水想定区域の順に整えます。

#### 地図が完成しました。





・本紙に記述しているQGISの操作は、大まかな手順を記載しています。詳しくは、 「活かすDBの利用方法」に掲載の「データ利用の手引」をご参照ください。

#### 【参考1】洪水浸水想定区域データのダウンロード



国報当当ロト約るり 土のた該一のを必ず 値用てウサ用守が でいます。



上の画面上で下方向にスクロールし、(右図)「データー覧」から「2. 政策区域」の「災害・防災」の「洪水 浸水想定区域(1次メッシュファイル)」を選択します。

ただし、上記の項目選択は本事例作成時の使用例であり、他データの使用を妨げるものではありません。掲載項目等の詳細については、「国生数値情報ダウンロードサイト」をご確認ください。







世界测地系

令和4年度

5339

GEOJSONEST

その他の河川

(東京都が含まれるメッシュを 選択した例)

目的の地区が含まれるメッシュ(格子)を選択します。

同じデータで複数のファイル 形式が掲載されていることがあります。この場合、QGISでの利 用が容易な「シェープ形式」の データを選択しダウンロードしています。(赤色楕円)

ダウンロードしたデータは、 zipファイル形式ですので、展開 して同じフォルダに保存してく ださい。

ただし、上記の項目選択は本事例作成時の使用例であり、他データの使用を妨げるものではありませんので、掲載項目等の詳細については、「国土数値情報ダウンロードサイト」をご確認ください。

また、ファイルサイズが大きい場合があり ますので、確認の上利用してください。

A31-22\_20\_5339\_GEOJSON.zip

#### 【参考2】農地の区画情報(筆ポリゴン)のダウンロード

※ 令和6年9月11日から新たに、活かすDBのメニューに「筆ポリゴンデータ」が 追加されました。(都道府県別) 以下の画面からダウンロードしてご利用いただけます。



お問い 合わせ先 農林水産省大臣官房統計部経営・構造統計課 センサス統計室 農林業センサス統計第2班 (直通:03-6744-2256) センサス統計室では、「地域の農業 を見て・知って・活かすDB」の利用 に関する相談を受け付けています。 お気軽にご相談下さい。

